

常吉部落有文書(3)概要

1:文書群番号	121051
2:文書群名	常吉部落有文書(3)
3:出所	中村光良氏
4:家業・役職等	常吉会会長
5:地名	摂津国武庫郡常吉村 / 兵庫県武庫郡常吉村 / 武庫郡武庫村常吉 / 尼崎市常吉 / 尼崎市常吉1丁目ほか
6:行政区分	幕府領 / 尼崎藩領 / 兵庫県第8区 / 常吉組戸長役場 / 武庫村 / 尼崎市
7:歴史	<p>近世の常吉村は大部分は元和3(1617)以降は尼崎藩領、小部は旗本佐藤(信則系)氏領であった。水利は武庫井組に属した。氏神は須佐男神社(近世には牛頭天王社)、寺院は浄土真宗大谷派常願寺。</p> <p>明治22年(1889)以降は武庫村の大字常吉、昭和17年(1942)以降は尼崎市の大字常吉となる。西武庫にかけて市域で最初の大規模団地である西武庫団地が建設され、昭和37年(1962)に入居が開始された。昭和40年(1965)~平成元年(1989)の住居表示により常吉・武庫豊町となったほか、一部が武庫元町・武庫之荘・常松・武庫の里となった。</p>
8:伝来	令和4年3月17日、常吉会会長中村光良氏より寄託された。
9:史料入手先	常吉会
10:点数	23点(目録件数18件)
11:年代	享保3・明治11~平成23(1718・1878~2011)
12:構造と内容	<p>本文書群は戦後の常吉地区に関する史料が大部分であり、一部明治・近世の史料も含まれる。</p> <p>戦後の史料は、常吉地域を含む武庫地区の防犯関係資料(昭和30年代)、大阪国際空港の航空機騒音公害関係資料(昭和40年代末~50年代、武庫地区航空機騒音公害対策協議会)、工事・事業の説明会資料(昭和62年阪神水道企業団送水路拡張工事、平成12年西武庫団地建替え事業ほか)などである。</p> <p>戦前のものとしては、明治11年(1878)頃の常吉村地図、享保3年(1718)の水論絵図の袋(本紙なし)がある。</p>
13:関連史料	常吉部落有文書(1)、常吉部落有文書(2)
14:閲覧条件	原本
15:作成者	三浦寿代